

議決結果

意見が分かれた議案等（各議員の賛否一覧表）

議案等	議員	会派														議決結果					
		公明党	日本共産党				新政クラブ		阿賀野クラブ				会派の所属なし								
		村上清彦	倉島良司	宮脇雅夫	稲毛明	山田早苗	佐竹政治	江口卓王	近山修	山崎正春	浅間信一	高橋幸信	石川恒夫	中島正昭	風間輝栄	遠藤智子	雪正文	山賀清一	市川英敏	天野美三男	
	賛否																				
		○:賛成 ×:反対																			
請願	保育園運営助成に関する請願	○	×	×	×	×	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	不採択
	討論(要旨)	<p>気になる子処遇改善費補助金をはじめ運営助成の更なる充実をお願いしたい。</p> <p>反対意見:保育士にかかる負担軽減を最優先に考え、補助金を出す以上、将来にわたり持続可能な支援でなければならない。限られた財源の中で、どうこの財源を捻出するのも含めて、もう少し時間をかけて精査・検証する必要がある。</p> <p>賛成意見:保育園は地域の最も重要な子育て支援の拠点であり、保育の質の向上は全ての保護者が望むことである。未来を担う尊い命を育む環境づくりについて、市も議会もしっかり考えていくべきである。</p>																			
請願	国民健康保険税の引き下げと減免制度の改善を求める請願	×	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	不採択
	討論(要旨)	<p>一般会計からの繰り入れ等により国保税を引き下げるとともに、国保税減免制度の拡充をしてほしい。</p> <p>反対意見:国保会計は毎年度赤字決算となっており、一般会計からの繰り入れで増税をしないで運営されている。これ以上の繰り入れ要求は財源的に無理がある。また、社会保険加入者との不均衡を拡大することも問題である。</p> <p>賛成意見:所得は減少、公共料金や生活必需品の値上げ、加えて消費税の増税。暮らしは厳しくなり、低所得者には国保税の負担は限界だ。特に教育費のかかる子育て世帯では所得割減免では救われず暮らしを圧迫。思い切った政策で市民の健康と命を守るために議会として受け止めるべきだ。</p>																			

総務文教常任委員会

平成26年2月10日に

所管事務調査を行いました。

水原中学校改築工事について

新校舎の特徴は、中庭を中心とした回廊式動線を短くした配置、膝や関節に優しいコンクリート面から高さ20cmの束での木造床組み、可能な壁は掲示板として使用等です。安田瓦を昇降口屋根部分の本瓦葺き、普通教室室名札の七福神像、昇降口床の敷き瓦、建物外壁周りの最上部の冠瓦、外部階段の鬼瓦と多様に活用しています。内部は木がいろいろな部分で使われて優しい感じが空間が広がり、とにかく明るく、廊下も広々として、学習環境の素晴らしさを感じました。

今後は現校舎解体工事、グラウンド整備工事と進みますが、委員からは校庭の砂塵対策には特に配慮していただきたいとの意見がありました。

閉会中の継続調査事項（6月定例会まで）

- (1)分田小学校耐震補強・大規模改造工事後の状況について
- (2)災害危険箇所状況について

社会厚生常任委員会

平成26年1月20日に

所管事務調査を行いました。

特別養護老人ホーム整備計画について

市は、「第5期介護保険事業計画」変更について県より承認を受け、平成26年度に170床を整備予定とし、第6期計画（平成27年～29年度）の中で開設に向けて進めていくとのこと。今後4～6月頃を事業者の公募期間とし、その後、選定委員会で選定された事業者、県、市で協議しながら整備していく。多床室については、出来る限り整備を進めたいと考えているが、県の補助金は対象とならないため、事業者の建設資金等の中で対応をお願いしたいとの説明でした。

委員からは、利用料の軽減が図られるよう多床室の整備は必要であり、市独自の補助金で整備する検討と入所待機者の状況を勘案して、増床整備を急ぐべきであるとの意見が出されました。

閉会中の継続調査事項（6月定例会まで）

- 「気になる子」の現状について

産業建設常任委員会

平成26年2月14日に

所管事務調査を行いました。

米の需給調整(減反政策)と阿賀野市の対応について

米の生産調整は、昭和53年度から減反面積の農家配分がなされ、農業の基盤強化策が講じられてきました。当市でも、行政やJA等関係機関連携のもと園芸作物等の振興策を講じてきたものの、ブランド化や一大産地化には至っていない現状にあります。

国策として進められてきた減反政策は、需給調整とともに米価の調整機能を果たしてきた面では評価すべきですが、今回の改革ではこうした機能が農業者（生産者）自らの経営判断に委ねられるなど農政の大転換であり、その成否は当市の基幹産業である農業の存亡にも関わると思われ、行政・関係機関及び生産者連携のもと英知を結集し対応策を講ずるよう強く要望します。

閉会中の継続調査事項（6月定例会まで）

- 商工観光課所管の公園、施設等の管理状況について

議会改革推進特別委員会・視察研修報告

平成26年2月3日（月）長野県塩尻市議会、2月4日（火）上越市議会へ赴き、議会改革の取り組みについて視察研修を実施しました。

塩尻市議会での議会報告会では、各地区の民生委員や区長など地域の役職者が多く参加し、1会場で40人程度になるそうです。報告会での意見、要望を調査票にまとめ、行政に提出。回答を議会ホームページで公開しています。今後、商工会議所、PTA等と意見交換をしていきたいということでした。

上越市議会では、ICT（情報通信技術）の活用を推進。SNS（フェイスブック等）も検討中とのこと。議会報告会で聴取した意見等は、広報広聴委員会で課題を整理し、課題調整会



塩尻市



上越市

議を開き、対応方針を協議。内容によっては議長が政策形成会議に諮問し、政策立案、政策提言を行います。

このたびの視察研修で、しっかりとした手順を構築する必要性を痛感。議員個々の意識変革とレベルアップが重要であると改めて実感しました。

行政視察受入

平成26年2月7日（金）に、村上市議会の議会運営委員会の皆さまが来庁され、当市議会における「予算・決算審議」について視察研修を実施しました。当市議会では特別委員会を設置し予算・決算の審査を行っています。村上市議会では各所管の常任委員会で審査しているとのこと。チェック機能の強化という点で有意義な意見交換をさせていただきました。



編集後記

ソチ冬期オリンピック・パラリンピックが日本勢の大活躍で終了しました。若者の活躍で日本の未来に希望の光を見出すことができました。

3月議会は、元気で明るく活力のある魅力的なまちの具現化に向けて、各種事業が提案され予算が審議されました。阿賀野市の未来に希望が持てるように、市と議会が共に力を合わせて取り組んでいきます。

（広報部会委員 近山 修）

阿賀野市議会改革推進特別委員会広報部会

- 部会長 村上清彦
- 副部会長 天野美三男
- 山崎正春
- 遠藤智子
- 稲毛明
- 近山修